

4ポート ブロードバンドルータ BRL-04FA

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

4ポート ブロードバンドルータ



本製品を安全にお使いいただくために

▲ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守ら れない場合、感雷、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそ れがあります。



- ・急激に温度変化する可能性のある場所(結露のおそれがある所)
- ・静電気を帯びやすい場所(絨毯の上も含む)
- ・腐食性のガスが発生する場所

- ・ほこりの多い場所
- ・腐食性のガスが発生する場所

◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く 拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

このマニュアルの構成

本マニュアルはワイヤレス 3ポート ブロードバンドルータ bRoad Lanner BRL-04FAの概要および使用方法 について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアの接続

本製品ハードウェアのADSL/ケーブルモデムおよびLANとの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 インターネット接続設定

本製品を使って簡単にインターネットに接続する方法について説明します。必ずお読みください。

第4章 アドバンスド設定

本製品のDHCPサーバ機能や静的マスカレード、ファイアウォール機能などのより詳しい機能の設定の方法について説明します。

第5章 その他の機能

本製品の通信状況の表示や、ファームウェアのアップデート、設定の初期化などについて説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B インターネット接続設定のステータス表示

「インターネット接続設定」ページのステータス表示の一覧です。

付録C デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定について説明します。

付録D 仕様

本製品の製品仕様です。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual Version 2.0 No.PMN-02-05-YT-BLW04FA

本製品を安全にお使いいただくために	
-------------------	--

第1章 はじめに

1.概要			 	 	 	 		 	 		 	 	 	 •••		•7
2.特長			 	 	 	 		 	 		 • •	 	 	 •••		· 8
3.梱包	内容の確認	忍	 	 	 	 		 	 		 	 	 	 •••		.9
4.各部	の名称・		 	 	 	 	• • •	 •••	 	•••	 • •	 	 	 		10
5.対応	機器・・・・		 	 	 	 		 	 		 	 	 	 	'	13

第2章 ハードウェアの接続

1.ADSL/ケーブルモデムとの接続(WAN側ポート)······15
2.ネットワークとの接続 (LAN側ポート)······16
3.電源の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
4.接続の確認・・・・・18
5.本製品のリセット手順

第3章 インターネット接続設定

1.コンピュータの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
2.ブラウザからのアクセス
3.簡単インターネット設定 ·······32
4.通常接続の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
5.PPPoE接続の設定 ····································
6.インターネット接続の確認 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

第4章 アドバンスド設定

第5章 その他の機能

1.アクセス状況の表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · 75
2.設定情報の保存 / 読み込み · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · 77
3.ファームウェアのアップデート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · 79
4.デフォルト設定の読み込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • 80
付属A トラブルシューティング	83
付属B インターネット接続設定のステータス表示 ──────	• • • 85
付属C デフォルト設定	• • • 87
付属D 仕様 ───────────────────────────────────	• • • 89

1

はじめに

はじめに

1 概要

本製品は、ADSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したインターネッ ト接続に対応したブロードバンドルータです。NAPT(Network Address Port Translation:ネットワークアドレスポート変換)機能により、1つのIP アドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセ スすることができます。PPPoE接続にも対応しており、NTT東日本株式会 社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」および「Bフレッツ」でもご 利用できます。本製品はWEBブラウザにより、簡単にセットアップするこ とができます。



図1-1 bRoad Lanner 接続図

▲ 注意 プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制 限していることもあります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2 特長

NAPT機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能 WAN側に100M/10M自動認識に対応した RJ-45 STPポートを1ポート装 備

LAN側に100M/10M自動認識に対応した4ポートスイッチングハブを内蔵 WAN側ポートはDHCPクライアントに対応

LAN側ポートはDHCPサーバに対応(最大253クライアント)

ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能により、ローカ ルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能 ステートフルパケットインスペクション方式のファイアウォール機能を

装備

フィルタ機能を装備、送信元および送信先のIPアドレス、ポート番号に よるアクセス制限が可能

WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続に対応 unnumbered接続による複数グローバルIP接続サービスに対応

マルチNAT対応

WindowsMessenger対応

ARM9プロセッサによる高速ルーティング

WEBブラウザから設定可能

UPnP (Universal Plug and Play)機能に対応

1

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。 bRoad Lanner (BRL-04FA)本体 ACアダプタ ストレートタイプLANケーブル(1m)1本 ショートケーブル1本 ユーザーズマニュアル 保証書(ユーザーズマニュアルの最後にあります)

不足品があるときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡く ださい。 1 はじめに

4 各部の名称

本体前面



図1-2 BRL-04FA本体前面

「Power LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「Status LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。また、電源投入時の起動時などの自己診断中にも点滅します。

「Link/Act LED」

ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、ポートがデータ の送受信中は点滅します。

「100M LED」

ポートのリンクが100Mで確立すると、点灯します。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。

7.5V.1/

「 WAN側ポート

. 電源コネクタ



Uplinkスイッチ

「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45 LANポートです。

LAN 側ポート

「WAN側ポート」

本製品をADSLモデムまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 LAN ポートです。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「Uplink スイッチ」

WAN側ポートをUplinkポートに切り替える時に使用します。

本体裏面





図1-4 BRL-04FA本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番 号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポー トを受ける場合にも必要になります。

WAN Node ID

本製品のWAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダ によってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が 必要な場合があります。そのときはこのMACアドレスをプロバイダに申請 してください。

LAN Node ID

本製品のLAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。

5 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

- ・Windows 95/98/Me/NT/2000/XPを搭載し、RJ-45 LANポートを装備した コンピュータ
- ・TCP/IPが利用可能なOS(Mac OS、各種UNIX等)を搭載し、RJ-45 LAN ポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

・LANケーブル

ADSL/**ケーブルモデム**

本製品は、以下のいずれかのADSL/ケーブルモデムに対応しています。

- ・RJ-45 LANポートを装備した外付ADSLモデム
- ・RJ-45 LANポートを装備した外付ケーブルモデム

1 はじめに

ハードウェアの接続



本章では、本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータとの接続手順について説明します。

1 ADSL/ケーブルモデムとの接続(WAN側ポート)

1. ADSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。

- 2. 本製品背面のUplinkスイッチを「Uplink」に切り替えてください。
- 本製品付属のLAN用ストレートケーブルもしくは、市販のストレートタイ プのLANケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとADSL/ケーブルモデム のRJ-45 LANポートを接続してください。



図2-1 ADSL/ケーブルモデムとの接続



2 ネットワークとの接続(LAN側ポート)

- ストレートタイプのLANケーブルの一端を本製品のいずれかのLAN側ポートに接続してください。
- 2. LANケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45 LANポートに接続してく ださい。



図2-2 ネットワークとの接続

2 ハードウェアの接続

3 電源の接続

- 1. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
- ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、 ACアダプタを接続できないときは付属のショートケーブルをご使用ください。
- 3. ADSL/ケーブルモデムの電源を入れてください。
- 4. コンピュータの電源を入れてください。



図2-3 電源の接続

🛕 注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属のACアダプタ以外でのご使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属のACアダプタ以外を使用した場合の故障は保証の 範囲外となります。

4 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPower LEDとWAN LEDおよびLAN LEDが点灯します。

これらのLEDが点灯しないときは以下の点についてご確認ください。

POWER LED

本製品付属のACアダプタを使用していますか?

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか?

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか?

WAN LED

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか?

ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか? Uplinkスイッチの設定は合っていますか?

LAN LED

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびコンピュ ータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか?

コンピュータの電源は入っていますか?

5 本製品のリセット手順

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。何らかの理由で本製品 のリセットを行いたいときは、以下の手順でリセットを行ってください。

- **1.** 本製品に電源が入っていることを確認し、リセットスイッチを押してください。
- 2. 本製品がリセットされ、再起動します。



インターネット接続設定



章では本製品のインターネット接続設定手順について説明します。インタ ーネット接続設定では、必要最小限の設定で、本製品を経由したインター ネットへのアクセスを行えるようにします。

インターネット接続設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して 本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。 本製品のより詳細な設定を行うときは、第4章「アドバンスド設定」を参照してくだ さい。

1 コンピュータの設定

Windows 95/98/Me

- コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されている ことを確認してください。LANアダプタがインストールされていないとき は、LANアダプタのインストールを行ってください。
- コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされているときは手順5に進んでください。

and a de Letter betterde			
Microsoft イットワーク共有	iサービス		
追加(A)	削除(<u>R</u>)	71]ノ\°ティ(₽)
crosoft ネットワーク クライアン	ŀ		1
ファイルとつかめの共有任	n		
元0月	(1997)		

3. インストールされていないときは「追加」ボタンをクリックし、「インスト ールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して 「追加」ボタンをクリックしてください。

シストールするネットワーク コンポーネント :	
3.クライアント	追加(A)
■ジアダプタ メープロトコル	キャンセル
Β Ψ-Ελ	
プロトコルはコンピュータが通信するための言語です。 通信する複 数のコンピュータ同士は、同じプロトコルを使用する必要がありま	

 ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネ ットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリ ックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。

ネットワーク プロトコルの選	択
インストールする 〜〜〜 ックしてくださし マーは、[ディスク使	シネットワーク ブロトコルをクリックして、[0K] をクリ \> このデバイスのインストール ディスクがある場合 用] をクリックしてください。
製造元(M):	ネットワーク ブロトコル:
3 Banyan	び ATM コール マネージャ ▲
3 IBM	YF IPX/SPX 互換プロトコル
Ƴ™icrosoft	Y Microsoft 32 ビット DLC
3 Novell	G Microsoft DLC
	3 NetBEUI
	Y_TCP/IP
	ディスク使用(世)
	OK キャンセル

5.「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。 「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリ ックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを 選択し、コンピュータを再起動してください。

ТСР/ІРФЈаЙл-г
バインド 詳細設定 NetBIOS DNS 設定 ゲートウェイ WINS 設定 IP アドレス
IP アドレスは DHOP サーバーによって自動的にこのコンピューダに変わ当てられます。ネットワークが自動的に IP アドレスを割り当てない場合は、ネットワーク管理者がアドレスを割り当てます。この場合はアドレスを入力してください。
● 単 アドレスを自動的に取得(Q)
 C IP アドレスを指定(S)
P 7/1/20
サブネットマスク(山):
<u> </u>

Windows 2000

- コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。
- コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」
 「コントロールパネル」
 「ネットワークとダイアルアップ接続」と選択してください。
- **3.**「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから 「プロパティ」を選択してください。



 4.「ローカルエリア接続のプロパティ」に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確認してください。インストールされてい る場合は手順7に進んでください。

	Realtek RTL	.8139/810	X Family PCI F	Fast Ethern	et NIC
チェック	マークがオンに	なっているコ	コンポーネントがこ	の接続で何	構成(<u>C</u>) 使用されています(
✔ 📒	」 Microsoft ネ	ットワーク用	わライアント		
	】Microsoft ネ	ットワーク用 プロトコル	ファイルとプリン: (TCP/IP)	快有	
	1.55 451	1010/2			
1	ンストールΦ		削除(<u>U</u>)		プロパティ(<u>R</u>)
脱明]		* 1 -0 - 1	10 T 10/4	
1-1	法制付け フロトコ	ルインター	ネットフロトコル	。相互接続	टेगीहटेंडदेडे देख

5. インストールされていない場合は「インストール」ボタンをクリックし、 「ネットワークコンポーネントの種類」から「プロトコル」を選択して「追 加」ボタンをクリックしてください。

ネットワーク コンポーネントの	D種類の選択	<u>? ×</u>
インストールするネットワー (<u>C</u>):	-クコンポーネントの種類をクリ	りックしてください
 見りライアント リサービス ロトロリー 		
• 200-22 		
לפורבועלג, בטעיבי	ータ間の通信に使用される言	語です。
	追加(<u>A</u>)	キャンセル

6.「ネットワークプロトコル」で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を 選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ローカルエリア接続のプ ロパティの画面に戻ります。

ネットワーク	プロトコルの選択
Ъ.	インストールするネットワーク プロトコルをクリックしてから [OK] をクリックしてください。このコンポ ーネントのインストール ディスクがある場合は、「ディスク使用] をクリックしてください。
ネットワー	-ծ プロトコルዊ)։
AppleT DLC プ NWLink	「alk プロトコル 「ロトコル LIPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポート プロトコル
インター ネットワ	ネット プロトコル(TCP/IP) 一クモニタ ドライバ

 7.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンを クリックしてください。「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパ ティ」画面が表示されるので、「IP アドレスを自動的に取得する」と 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」の2つのオプションを選択 し「OK」ボタンをクリックしてください。

ットワークでこの機能がサポートされて ます。サポートされていない場合は、 ください。	ている場合は、IP 設定を自動的に取得することが ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わけ
● IP アドレスを自動的に取得する	S(Q)
○ 次の IP アドレスを使う(S):	
IP アドレス(D)	
サブネット マスク(山):	
デフォルト ゲートウェイ (<u>D</u>):	
⑦ DNS サーバーのアドレスを自動 ⑦ 次の DNS サーバーのアドレスを	éhに取得する(B) f使う(E):
優先 DNS サーバー(P)	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	

8.「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻るのでこれを閉じてください。

Windows XP

- コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されている ことを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合 は、LANアダプタのインストールを行ってください。
- コンピュータでTCP/IPプロトコルが有効になっていることを確認します。
 「スタート」メニューを開き、「マイコンピュータ」を選択してください。
 表示された「マイコンピュータ」ウィンドウの左側の「その他」の中にある「マイネットワーク」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を 選択してください。「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。



3.「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるメニューから 「プロパティ」を選択してください。「ローカルエリア接続のプロパティ」 ウィンドウが表示されます。「この接続は次の項目を使用します」の欄の 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の左側のチェックボックスがチェ ックされているか確認してください。チェックされていない場合はチェッ クしてください。

Intel(R) PRO/100B PCI Ad	apter (TX)	
)接続は次の項目を使用します(型)	構成(<u>C</u>).	
2 🖳 Microsoft ネットワーク用クラ 2 📳 Microsoft ネットワーク用ファ 2 🐨 インターネット プロトコル(TC	イアント イルとプリンタ共有 (P/IP)	
インストール(N) 削 見明 伝送制御 <u>プロトコル/インターネット</u>		ひ まな コトコ

4.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンを クリックしてください。「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパ ティ」画面が表示されるので、「全般」タブをクリックしてください。画面 内の「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動 的に取得する」のオプションを選択し、「OK」ボタンをクリックしてくだ さい。

インターネット プロトコル(TCP/IP)	のプロパティ ?>
全般(代替の構成)	
ネットワークでこの機能がサポートされて きます。サポートされていない場合は、 てくだざい。	いる場合は、IP 設定を自動的に取得することがで やットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
◎ IP アドレスを自動的に取得する(0
○次の IP アドレスを使う(S):	
IP アドレスØ:	
サブネット マスク(山)	
デフォルト ゲートウェイ (<u>D</u>):	
③ DNS サーバーのアドレスを自動的	うに取得する(B)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを化	更う(E):
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>)	
	■詳細設定心
	OK キャンセル

5.「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ったら、「閉じる」ボ タンをクリックしてください。 Macintosh

- **1.** アップルメニューから「コントロールパネル」 「TCP/IP」と選択してく ださい。
- **2.** TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定 してください。

	TCP/	IP		
経由先: 30字	Ethernet	\$		
設定方法:	(DHCP サーバを参照	\$		
DHCP クライアント ID:				
IP アドレス:	192.168.10.31			
サブネットマスク:	255.255.255.0			
ルータアドレス:	192.168.10.10			
ネームサーバアドレス:	111.0.94.38		検索ドメイン名:	
0				

3. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

その他のコンピュータまたはOS

ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアルおよびドキュメントを参照に して、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレス はDHCPサーバから取得する設定にしてください。

2 ブラウザからのアクセス

1. コンピュータが起動したら、ブラウザを起動してください

- **2.** ブラウザのURLを入力する欄 (Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
- 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。パ スワードにデフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタ ンをクリックしてください。

>>ワーク /	ペスワードの入力		? ×
<u> </u>	ユーザー名とパスワー	-ドを入力してください。	
ย .	ህ ፈኑ:	192.168.1.1	
	領域	BRL-04FA	
	ユーザー名(山)		
	パスワード(<u>P</u>)	****	_
	□ このパスワードを	呆存する(<u>S</u>)	
		OK キャンセル	

4. 本製品の設定画面が表示されます



3

🛕 注意

WEB設定画面が表示されないときは以下の項目を確認してください。

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか?

コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認 してください。

コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。

使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」「インターネットオプション」「接続」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にプロキシの設定項目があります。

お使いのコンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。

WindowsではDOSプロンプトから、 ipconfig コマンドを実行するとIPアドレスが表示されま す。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」 「TCP/IP」を開いて、IP アドレスの欄にIPが割り振られてるか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得で きてないときは、コンピュータを再起動してください。(デフォルト設定時は 192.168.1.xxx が IPアドレスとして割り当てられます。)

3 簡単インターネット設定

1. ブラウザで設定画面を開きます。

2. 設定画面左側のメニューから、「簡単インターネット設定」の文字をクリックします。「簡単インターネット設定」ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプに合った設定をします。

通常接続

CATVインターネット接続サービスや「Yahoo!BB」などPPPoEプロトコル を使用しないADSL接続サービスをご利用のときの設定です。IPアドレスの 取得にDHCPを使用するサービスのときもこちらの設定になります。

33ページ「4.通常接続の設定」に進んでください。

PPPoE接続

NTT東日本株式会社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」、「Bフレッ ツ」や東京めたりっく通信の「G-One(旧Single)」サービス、名古屋めた りっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインタ ーネット接続サービスをご利用のときの設定です。

36ページ「5.PPPoE接続の設定」に進んでください。

4 通常接続の設定

「通常接続の設定」では、ADSL/CATVインターネットサービスをご利用の ときの設定をします。

- **1.**「簡単インターネット設定」ページの「通常接続の設定」の「修正」ボタン をクリックしてください。
- **2.**「通常接続の設定」ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。

DRoad Lanner Smart Manager - I	ficrosoft Internet Explorer
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) :	6\$\$\$(2).57(A) 7-11 (D) 11.799 (A)
◆戻る・→・◎ 2 2 4	28年 日255(2) 愛がの ほ 日・日 マ 品
アドレス(D) @ http://1921681.1/	
DCi- BRL-04FA	
■ <u>簡単インターネット読定</u>	anner
□ニカルネットワーク設定	has a difference and the second
■アドパンスド設定	bkoad Lanner smart Manager
NAPT設定 ルーティング	通常接続の設定
ファイアウォール 管理者設定	通常接続の設定をします。
ポノテナンス	IP設定の自動取得(DHCP): 和加 -
アクセス状況	ホスト名 : broadlanner
設定価額の保存/読込	WANBEP7FUZ:0.0.0.0
2.24.01 8.4.0182	WAN明サラネットマスク: 0 . 0 . 0 . 0
<u>*-h</u>	WAN用デフォルトゲートウェイ:00.00.00.00
	DNSサーバアドレスの自動取得: 有効 王
	ブライマリDNSサーバアドレス:00,00,000
	セカンダリDNSサーバアドレス:D D D D
	DMZネットワークテーブル
	本製品のLAN(則ネットワークに接続するCMZネットワークホストのグローバルPPアドレス範囲を設定します
	are。 注意:複数のグローバルPアドレスが零別当てられるサービスをご利用で、LAN側にグローバルPア ドレスポストを設置したい場合のみご利用びされ、。グローバル/ブライベートPアドレスを1対1で変換 する、マルチドNATとは異なお練行です。
	最初のIPアドレス 最後のIPアドレス 修正 有弊
	None
	DMZネッドワークのi最加
	適用 クリア
100 mm / 2000 100 1000	
IST unb//1851081110/bbbes/itm	1 29-791

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIP アドレスが自動的に割り当てられるときは「する」、IP アドレスが固定で割り当てられるときは「しない」を選択します。「しない」 のときは以下の項目に関しても設定してください。工場出荷時の状態では 「する」に設定されています。

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIP アドレスが自動的に割り当てられるときは「する」、IP アドレスが固定で割り当てられるときは「しない」を選択します。「しない」 のときは以下の項目に関しても設定してください。工場出荷時の状態では 「する」に設定されています。

WAN **側**IP**アドレス**

IPアドレスが固定で割り当てられるときは、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定さ れています。

例:153.16.10.40

WAN **側サブネットマスク**

IPアドレスが固定で割り当てられるときは、プロバイダから指定されたサ ブネットマスクを入力してください。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に 設定されています。

例:255.255.255.240

WAN **側デフォルトゲートウェイ**

IPアドレスが固定で割り当てられるときは、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。

例:153.16.10.36

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されてい るときは、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレス を入力します。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。 例:172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されてい るときは、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレス を入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定 されていないときは、入力する必要はありません。工場出荷時の状態では 「0.0.0.0」に設定されています。

例:172.16.1.11

3.入力内容を確認して、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。

4.「設定を保存して再起動します。」というメッセージが表示されるので、「再 起動」ボタンをクリックしてください。変更した設定内容が保存され本製 品が再起動します。
- 5. 本製品が再起動したら、画面左側のメニューから、もう一度「簡単インタ ーネット設定」をクリックしてください。
- **6**.「インターネット接続設定」の「接続方式」で「通常接続」を選択して「適用」ボタンをクリックしてください。
- 7.「設定を保存して再起動します。」というメッセージが表示されるので、「再 起動」ボタンをクリックしてください。変更した設定内容が保存され本製 品が再起動します。
 - 以上で通常接続の設定は終了です。41ページ「6.インターネット接続の確認」に進んでください。

5 PPPoE接続の設定

「PPPoE接続の設定」では、PPPoE方式を採用したADSLインターネットサ ービスをご利用のときの設定をします。

- 1.「簡単インターネット設定」ページの「PPPoE接続の設定」の「修正」ボ タンをクリックしてください。
- 2.「PPPoE接続の設定」ページが表示されます。表示される設定項目に必要 な情報を入力します。

DRoad Lanner Smart Manager -	Microsoft Internet Explorer		_ [] ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y)	お気に入り(合) ツール(田) ヘルプ(日)		15
-> = - 5 () () ()	24条 国お知に入り 愛メディア ③ 昌・④ [3.308	
アドレス(型) 創 http://1921681.1/			一 (2446 リンク ※
	b.	Fast Access	
		nner	
<u>職単インターネット認定</u>			
ローカルネットワーク設定	bRoad Lan	ner smart Manager	
■アドバンスド設定 NAPT設定			
<u>ルーティング</u> ファイアウォール	PPPoE接続の設定		
管理者設定	PPPoE接続の設定をします。		
■メンテナンス アクセンス #2			
ファームウェアアップデート			
デフォルト設定の読込	ロジョンパスワートの確認		
■ <u>未一ム</u>	7-6,78		
		427 1	
		970	
	201 COURSE AVENUE		
	MSS/Maximum Segment Size/	1412 Dyte 0 14 F7	
	DMCネットワークテーブル		
	本製品のLAN(肌ネットワークに接続するCMZ	ネットワークホストのグローバルPアト	レス範囲を設定し
	ます。 推算:複数のグローバルPアドレスが書け当 ドレスホストを設置したい場合のみご利用くれ オス・マルチNATとは書なる機能です	てられるサービスをご利用で、LAN# Sさい。グローバル/ブライベートIPアト	ルログローバルIPア マレスを1対1で変換
	Main PFU2	約了IPアドレス	修正 自脉
		None	
	DMZネットワークの追加		
	適用 クリア		
181ページが表示されました			10 インターネット //

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を、正確に入力してくださ い。「フレッツ・ADSL」、「Bフレッツ」のときは「@」(アットマーク)以 下も入力します。工場出荷時の状態では空欄に設定されています。

例:pci011@planexbrl.ne.jp



最大64文字の半角英数字を入力できます。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを、正確に入力してくだ さい。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても「*」(アスタリス ク)表示されます。工場出荷時の状態では空欄に設定されています。 例:rY0Co2Mtu

🏠 注意

最大64文字の半角英数字を入力できます。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。 PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

ログインパスワードの確認

確認のためプロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードをもう一度入 力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても「*」 (アスタリスク)表示されます。工場出荷時の状態では空欄に設定されてい ます。

例:rY0Co2Mtu

サービス名

通常入力する必要はありません。プロバイダからPPPoEサービス名が指定 されているときは、指定されたPPPoEサービス名を正確に入力してくださ い。工場出荷時の状態では空欄に設定されています。

例:PPPServ

注意

最大64文字の半角英数字を入力できます。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

IPアドレスの自動取得

IPアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられるときは「有効」、IPア ドレスが固定で割り当てられているときは「無効」を選択します。「無効」 のときは以下の「WAN側固定IPアドレス」も設定してください。工場出荷 時の状態では「有効」に設定されています。

WAN**側固定IPアドレス**

IPアドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。

例:153.16.10.40

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得するときは「有効」、 DNSサーバのIPアドレスが固定で指定されているときは「無効」を選択し ます。「無効」のときは以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリ DNSサーバ」も設定してください。工場出荷時の状態では「有効」に設定 されています。

プライマリDNSサーバアドレス

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されてい るときは、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレス を入力します。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。 例:172.16.1.10

セカンダリDNSサーバアドレス

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されてい るときは、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレス を入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定 されていないときは、入力する必要はありません。工場出荷時の状態では 「0.0.0.0」に設定されています。

例:172.16.1.11

MSS (Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設 定「1412」を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができ なくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、 パフォーマンスが著しく低下したりするので注意してください。MSS値に 40を加えた値がMTUの値になります。



NTT東日本株式会社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」「Bフレッツ」のときは、必ず 「1414」以下の値でご使用ください。

- **4.**「設定を保存して再起動します。」というメッセージが表示されるので、「再 起動」ボタンをクリックしてください。変更した設定内容が保存され本製 品が再起動します。
- **5.** 本製品が再起動したら、画面左側のメニューから、もう一度「簡単インタ ーネット設定」をクリックしてください。
- 6.「インターネット接続設定」の「接続方式」で「PPPoE接続」を選択して ください。
- 7.「PPPoE接続の設定」の以下の項目について設定をしてください。

自動切断

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に 自動的 にPPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。設定可能な範 囲は0~999です。自動切断したくないときは、「0」を入力してください。 工場出荷時の状態では「0」に設定されています。

例:10

キープアライブ

キープアライブを「有効」に設定すると、本製品を起動したときやPPPoE 接続がなんらかの原因で切断されたときに自動で再接続を行います。LAN 側でサーバを公開している場合などでは、「有効」に設定することをお勧め します。工事出荷時の状態では「無効」に設定されています。

PPPoE 接続方法

コンピュータ上でブラウザを起動した場合など、LAN側のコンピュータか らのインターネット接続要求に応じて自動的にPPPoE接続したいときは、 「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスのときは 「有効」に設定することをお勧めします。工場出荷時の状態では「有効」に 設定されています。



接続確認間隔および、接続確認リトライ回数を小さく設定すると、不要な切断処理が行われる 場合があります。通常は工事出荷時の設定のままでご使用ください。

接続確認間隔(10~300秒)

PPPoEの接続を確認するための接続確認パケットの送信間隔を設定します。工事出荷時の状態では「60」に設定されています。

接続確認リトライ回数(1~99回)

上記の接続確認パケットに応答がなかったときのリトライ回数を設定しま す。ここで設定した回数、連続して応答がなかったときは、PPPoEの接続 になんらかの障害が発生したと判断し、PPPoEの切断処理を行います。工 事出荷時の状態では「6」に設定されています。



接続確認間隔および、接続確認リトライ回数を小さく設定すると、不要な切断処理が行われる場 合があります。通常は工事出荷時の設定のままでご使用ください。

- 8. 入力内容を確認して、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。
- **9.**「設定を保存して再起動します。」というメッセージが表示されるので、「再 起動」ボタンをクリックしてください。変更した設定内容が保存され本製 品が再起動します。

以上で通常接続の設定は終了です。41ページ「6.インターネット接続の確認」に進んでください。

6 インターネット接続の確認

1. ブラウザで本製品の設定画面を開いてください。

- **2.** 設定画面左側のメニューから、「簡単インターネット設定」の文字をクリックします。「簡単インターネット設定」ページが表示されます。
- **3.** ご使用の接続方法の「ステータス」欄に「Connect (xxxxx)」と表示され ているか確認してください。「ステータス」欄のメッセージについては「付 録 B」も参照してください。
- ブラウザのアドレス入力欄に「http://www.planex.co.jp/」と入力して 「Enter」キーを押してください。弊社ホームページが表示されればインタ ーネットへの接続は成功です。



インターネットに正常にアクセス出来ないときは、付録A「トラブルシュ ーティング」を参照してください。

アドバンスド設定



こでは本製品の詳細な設定方法について説明します。

1 LAN側ポートとDHCPサーバ機能の設定

ここでは本製品のLAN側ネットワークの設定とDHCPサーバ機能の設定ができます。

設定画面左側のメニューから、「ローカルネットワーク設定」の文字をクリ ックします。「ローカルネットワーク設定」画面が表示されます。各設定項 目に必要な情報を入力します。



LAN**側IPアドレス**

本製品LAN 側ポートに設定するIP アドレスを入力します。ここに入力する アドレスがLAN 側からみた本製品のIP アドレスになります。工場出荷時の 状態では「192.168.1.1」に設定されています。

例:192.168.1.1

LAN**側サブネットマスク**

本製品LAN 側ポートに接続されたネットワークのサブネットマスクを入力 します。工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。 例:255.255.255.0

DHCP **サーバ**

「有効/無効」から選択してください。この機能を有効にするとLAN 側ポートに接続されたネットワーク上のコンピュータに対して、本製品が自動的にIP アドレスを割り当てます。有効にするときは以下の項目も設定してください。工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。

LAN**側デフォルトゲートウェイ**

本製品のLAN 側ポートに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェ イ(デフォルトルータ)のIP アドレスを入力します。通常は本製品を経由 してインターネットに接続する形になりますので、上記「LAN 側ポートIP アドレス」と同じ値を入力します。工場出荷時の状態では「192.168.1.1」 に設定されています。

例:192.168.1.1

WINS サーバアドレス

LAN 側ポートに接続されたネットワーク上にWINS サーバがあるときはそのIP アドレスを入力します。工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。

例:172.16.1.20

ドメイン名

通常は設定する必要はありません。ご利用のインターネット接続サービス でドメイン名の設定が必要なときに、ここにドメイン名を入力します。こ の設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定 される際に、ドメイン名もコンピュータに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されているときは、指定されたドメイン 名を入力してください。工場出荷時の状態では空欄に設定されています。

例:planex.net

🛕 注意

DNSリレーが「無効」の状態で接続先のプロバイダを切り替えたときは、その都度コンピュータのDNSアドレスの設定を変更する必要があります。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」ボタンをクリックし てください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更した設定内容が保存され本製品が再起動 を開始します。

DNS**リレー**

「有効」に設定するとDNSリレー機能が有効になります。DNSリレー機能 とはLAN側のコンピュータからのDNSサーバへのリクエストを本製品がコ ンピュータに替わって行う機能です。通常は「有効」に設定して使用する ことをお勧めします。「有効」に設定したときはコンピュータのDNSアドレ スには本製品のLAN側ポートのIPアドレスを設定してください。本製品の DHCPサーバ機能を使用しているときは本製品のLAN側ポートのIPアドレ スが自動的にDNSアドレスに割り当てられます。「無効」に設定したときは コンピュータのDNSアドレスにはプロバイダから指定されたDNSサーバの アドレスを設定してください。

UPnP機能

「有効」に設定するとUPnP(Universal Plug and Play)機能が有効になり ます。工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。

DHCP割り当て範囲

本製品のDHCP サーバ機能により、LAN 側ポートに接続されたネットワー ク上のコンピュータに対して自動的に割り当てられるIP アドレスの範囲が リスト表示されています。この範囲を変更したいときは「修正」ボタンを、 削除したいときは「削除」ボタンをクリックしてください。工場出荷時の 状態では「192.168.1.21」~「192.168.1.120」までのIP アドレス割り当 て範囲が設定されており、最高100 台のコンピュータにIPアドレスを自動 的に設定することができます。

IPアドレスの範囲を追加したいときは、「DHCP割り当て範囲の追加」ボタ ンをクリックします。「DHCP割り当て範囲の追加/修正」ページが表示され ます。追加したいIPアドレス範囲の最初のIPアドレスを「開始IPアドレス」 欄に、最後のIPアドレスを「終了IPアドレス」欄に入力して「適用」ボタ ンをクリックしてください。入力した内容が反映されたページが表示され ます。

「IP割当て範囲」は最大で4つの範囲を指定できます。



DHCP**固定IP割り当て**

本製品のDHCPサーバ機能を利用し、なおかつ特定のコンピュータ(サー バなど)のみ任意のIPアドレスで固定させたい場合に利用します。既に固 定IP割り当てを設定しているときはリスト表示されます。各リストを変更 したいときは「修正」ボタンを、削除したいときは「削除」ボタンをクリ ックしてください。

DHCP固定IP割り当てを追加したいときは、「固定割り当ての追加」ボタン をクリックします。「固定IP割り当ての追加/修正」ページが表示されます。 固定設定したいコンピュータのIPアドレスを「固定割り当てIPアドレス」 欄に、そのIPアドレスを利用するコンピュータのMAC アドレスを「MAC アドレス」欄に入力して、「適用」ボタンをクリックしてください。入力し た内容が反映されたページが表示されます。

固定IP割り当てでは最大で16台のクライアントを登録できます。



2 DMZ機能による複数グローバルIPアドレス接続の設定

本製品はDMZネットワーク機能を装備しています。複数のグローバルIPア ドレスを割り当てられるサービスをご利用のときは、DMZ機能によりサー バを公開することができます。



図4-1 DMZネットワーク

設定画面左側のメニューから、「簡単インターネット設定」の文字をクリッ クします。「インターネット接続設定」画面が表示されます。ご使用のイン ターネット接続サービスに合った接続方式の「修正」ボタンをクリックし てください。



「DMZネットワークテーブル」に設定済みのDMZネットワーク範囲がリス ト表示されます。各リストを変更したいときは「修正」ボタンを、削除し たいときは「削除」ボタンをクリックしてください。DMZネットワークに は最大で4つのIPアドレス範囲を設定することができます。

DMZネットワーク範囲を追加したいときは、「DMZネットワークの追加」 ボタンをクリックします。「DMZネットワークの追加/修正」ページが表示 されます。



追加設定したいDMZネットワーク範囲の最初のIPアドレスを「開始IPアドレス」欄に、最後のIPアドレスを「終了IPアドレス」欄に入力して「適用」 ボタンをクリックしてください。

入力した内容が反映されたページが表示されるので、もう一度「適用」ボ タンをクリックしてください。

DMZ ネットワークの設定例

プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられる場合、1つのサブ ネットとして連続したグローバルIPアドレスが割り当てられます。このうち、 最初(ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)は、シス テムで予約されておりホスト(コンピュータやサーバ)には使用できません。 また、本製品のWAN側ポートで使用するIPアドレスも必要になります。従って、 ホストで自由に利用可能なIP アドレスは、(プロバイダから割り当てられたア ドレス数-3)個になります。(プロバイダから8個のグローバルIP アドレスが 割り当てられている場合は5個が利用可能)

例:プロバイダから153.16.10.40~153.16.10.47 (153.16.10.40/29)の8 個のグローバルIP アドレスが割り当てられた場合

153.16.10.40 ネットワークアドレス(使用不可)
153.16.10.41 ルータ用(例:本製品WAN側ポート)
153.16.10.42 DMZ ホスト用(例:プライマリDNSサーバ)
153.16.10.43 DMZ ホスト用(例:WEB サーバ)
153.16.10.44 DMZ ホスト用(例:メールサーバ)
153.16.10.45 DMZ ホスト用(例:FTP サーバ)
153.16.10.46 DMZ ホスト用(例:その他サーバ)
153.16.10.47 プロードキャストアドレス(使用不可)

この場合、DMZ ネットワークで使用可能なIP アドレス範囲は153.16.10.42 ~153.16.10.46になります。DMZネットワーク設定の「開始IPアドレス」 には、153.16.10.42 を設定し、「終了アドレス」には153.16.10.46 を設定 してください。また、本製品のWAN 側ポートのIP アドレスには 153.16.10.41 を固定設定してください。



一般的にルータ(本製品WAN側)に設定するグローバルPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこの アドレスを設定してください。

DMZホスト (コンピュータやサーバ)の設定

本製品のDMZネットワーク機能を利用する場合、DMZネットワークに接続 するホスト(パソコンやサーバ)のネットワーク設定は次のようになりま す。

IPアドレス

プロバイダから割り当てられたIPアドレスの中で、さらに本製品のDMZネットワーク範囲に設定したグローバルIPアドレス

例:153.16.10.42

サブネットマスク

プロバイダから指定されたサブネットマスク

例:255.255.255.240

デフォルトゲートウェイ

割り当てられたIP アドレス範囲の2 番目のグローバルIP アドレス(=本製 品WAN側ポートに設定したグローバルIPアドレス)

例:153.16.10.41

3 NAPT設定

ここでは本製品のNAPT(NAT/IPマスカレード)機能の設定とVPN(仮想 プライベートネットワーク)パススルー機能の設定を行います。 設定画面左側のメニューから、「NAPT設定」の文字をクリックします。 「NAPT設定」画面が表示されます。各設定項目に必要な情報を入力します。



ΝΑΡΤ

NAPT(NAT/IPマスカレード)機能を有効にするときは「有効」に、NAPT を無効にして本製品をローカルルータとして使用する場合には「無効」に 設定します。工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。

PPTP**//ススルー**

PPTPを使用したVPNのパススルー機能を有効にするときは「有効」に、 無効にするときは「無効」に設定します。工場出荷時の状態では「無効」 に設定されています。

L2TP**パススルー**

L2TPを使用したVPNのパススルー機能を有効にするときは「有効」に、無効にするときは「無効」に設定します。工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。

IPsec**パススルー**

IPsecを使用したVPNのパススルー機能を有効にするときは「有効」に、無効にするときは「無効」に設定します。工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

4 静的マスカレード機能によるサーバの公開

静的マスカレード機能によって、LAN側のサーバ(コンピュータ)をイン ターネット上から参照できるようにすることができます。静的マスカレー ドでは、ローカルサーバ、バーチャルコンピュータ、マルチNATの3種類の 方法でコンピュータを公開することができます。

ローカルサーバ

ローカルサーバとは、LAN側ポートに接続されたネットワーク上のサーバ の特定のプロトコルおよびポート(アプリケーション)だけをインターネ ット上から参照できるようにする機能です。



図4-2 ローカルサーバ



設定画面左側のメニューか ら、「NAPT設定」の文字を クリックします。「静的マス カレードテーブル」のペー ジが表示されます。

登録ID

静的マスカレードの登録IDを設定します。静的マスカレードテーブル上で は、IDの小さい静的マスカレードが優先されます。設定できる範囲は1~ 32です。

プロトコル

公開するサーバ(アプリケーション)で使用しているプロトコルを選択し ます。ローカルサーバでは「tcp」、「udp」、「tcp&udp」、「icmp」から選択 してください。「*(すべて)」は使用しません。

外部IPアドレス

公開するサーバにインターネット側からアクセスするときの宛先IPアドレ ス(公開するIPアドレス)です。ローカルサーバでは「WAN側ポートIPア ドレス」を選択します。

外部IPアドレス入力

「外部IPアドレス」で「指定」を選択したときのみ、インターネットに公開 したいグローバルIPアドレスを入力します。ローカルサーバでは入力しま せん。

外部ポート

公開するサーバにインターネット側からアクセスするときの宛先ポート番 号(公開するポート番号)です。ポート番号は「,」(カンマ)区切りで複 数入力できます。また「-」(ハイフン)区切りによって範囲指定すること もできます。

例:23,80,1000-1999

内部IP アドレス

上記で指定した外部ポート宛てのパケットが、本製品のWAN側ポートに送られてきた場合に、それが転送されるLAN側コンピュータのIPアドレスを 入力します。ここに入力されたIPアドレスのコンピュータがインターネットに公開されます。

例:192.186.1.100

内部ポート

インターネットに公開するLAN側のコンピュータの受信ポート番号です。 通常は「外部ポート番号と同じ」を選択してください。

内部ポート指定

「内部ポート」で「指定」を選択したときのみ、受信ポート番号を入力して ください。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「静的マスカレードテーブル」にエントリが追加されます。もう一度、「適 用」ボタンをクリックしてください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータとは、LAN側ポートに接続されたネットワーク上 のコンピュータをインターネット上から参照できるようにする機能です。 ローカルサーバでは指定したプロトコル/ポート番号だけが公開されます が、バーチャルコンピュータではすべてのプロトコル、ポートが公開され ます。アプリケーションで使用しているポート番号が不明なときは、バー チャルコンピュータを使用してください。



図4-3 バーチャルコンピュータ

設定画面左側のメニューから、「NAPT設定」の文字をクリックします。 「静的マスカレードテーブル」のページが表示されます。



すでに静的マスカレードが登録されているときは、「静的マスカレードテー ブル」に各エントリが表示されます。エントリを変更したいときは「修正」

Boad Larger Smart Manager -	Microsoft Internet Explorer	- 10 × 1
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) :	お気に入り(各) ツール(① ヘルブ(5))	12
+=== - → - ④ 🔄 🗇 🔮	2018年 国お知に入り 愛がか ひ 記・日 マ・日 マ 品	
アドレス(D) @ http://192168.1.1/		 ・ ・ ・
PC BRL-04FA ■ 簡単インターネット読定	b Call Access	
■ローカルネットワーク設定 ■アドバンスド設定	bRoad Lanner smart Manager	
<u>NAPT設定</u> ルーティング	静的マスカレードの追加/修正	
ファイアウォール 管理者設定	静的マスカレードの追加/修正を行います。	
メンテナンス	登録ID: 22	
アクセス状況	プロトコル: • (すべて) 💌	
設定価額の保存/読込	外部IPアドレス: WAN傷ポートIPアドレス 三	
2.24 ATRADUCE	外部IPアドレス指定: 0 0 0 0 0	
<u>*-1</u>	外部ボート:	
	内部1977ドレス:00,00,00	
	内部ボート: 外部ボート番号と同じ ■	
	内部术一ト指定:	
	浦田 カリア	
(1) 実行しましたが、ページでエラーが発	性しました。	● インターネット //

ボタンを、エントリを削除 したいときは「削除」ボタ ンをクリックしてくださ い。

静的マスカレードを追加し たいときは「静的マスカレ ードの追加」ボタンをクリ ックしてください。「静的 マスカレードの追加/修正」 ページが表示されます。

登録ID

静的マスカレードの登録IDを設定します。静的マスカレードテーブル上で は、IDの小さい静的マスカレードが優先されます。設定できる範囲は1~ 32です。

プロトコル

公開するサーバ(アプリケーション)で使用しているプロトコルを選択し ます。バーチャルコンピュータでは「*(すべて)」を選択してください。

外部IPアドレス

公開するサーバにインターネット側からアクセスするときの宛先IPアドレス(公開するIPアドレス)です。バーチャルコンピュータでは「WAN側ポ ートIPアドレス」を選択します。

外部IPアドレス入力

バーチャルコンピュータでは設定する必要はありません。

外部ポート

バーチャルコンピュータでは設定する必要はありません。

内部IP アドレス

本製品のWAN側ポートのIPアドレス宛てのパケットが、本製品のWAN側ポ ートに送られてきた場合に、それが転送されるLAN側コンピュータのIPア ドレスを入力します。ここに入力されたIPアドレスのコンピュータがイン ターネットに公開されます。

例:192.186.1.100

内部ポート

バーチャルコンピュータでは「外部ポート番号と同じ」を選択してくださ い。

内部ポート指定

バーチャルコンピュータでは設定する必要はありません。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「静的マスカレードテーブル」にエントリが追加されます。もう一度、「適 用」ボタンをクリックしてください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

マルチNAT

マルチNATは複数のグローバルIPアドレスが割り当てられるインターネット接続サービスをご使用のときに、グローバルIPアドレスとLAN側のプライベートIPアドレスを1対1でアドレス変換(NAT)する機能です。設定したグローバルIPアドレス宛てのすべてのパケットが設定したLAN側のプライベートIPアドレスのコンピュータに転送されます。



図4-4 マルチNAT

設定画面左側のメニューから、「NAPT設定」の文字をクリックします。 「静的マスカレードテープル」のページが表示されます。



		(=1)
つ broad Lanner Smart Manager - つ ad(山(日) 偏葉(日) 表示の人	Automat Experies Automat Experies	
+==> - → - ○ 2 3 3	28年 (1855-20 (1955-2) (195-2) (195-2) (195-2) (195-2) (195-2) (1	
アドレス(D) @ http://1921681.1/		 ・ ・ ・
DCi- BRL-04FA	(Past Access)	
■簡単インターネット読定	anner	
■日ーカルネットワーク設定	bBoad Lappor smart Managor	
■アドパンスド設定 NART 時空	bkoda Lanner smart Manager	
1-7-12/2	静的マスカレードの追加/修正	
<u>プライア・フォール</u> 管理者設定	静的マスカレードの追加/修正を行います。	
■メンテナンス	登録ID: 22	
アクセス状況 ファームウェアアップデート	プロトコル: ・ はべつ 💌	
設定価 <u>量の保存/読込</u> デフォルト設定の読込	外部IPアドレス:WAN他ポートIPアドレス国	
ホーム	外部IPアドレス指定:00.00.00.0	
	外部ボート:	
	内部IPフドレス:000000000000000000000000000000000000	
	内部ボート: 外部ボート書号と同じ 📃	
	内部术一片指定:	
	通用 2017	
	36/73 2777	
上) 実行しましたが、ページでエラーが発	EELdLt.	インターネット //

すでに静的マスカレード が登録されているときは、 「静的マスカレードテーブ ル」に各エントリが表示 されます。エントリを変 更がときは「修正」 ボタンを、エントリを削 除っしたいときは「削除」 ボタンをクリックしてく ださい。 静的マスカレードを追加 したいときは「静的マス カレードの追加」ボタン

をクリックしてください。 「静的マスカレードの追加/ 修正」ページが表示され ます。

登録ID

静的マスカレードの登録IDを設定します。静的マスカレードテーブル上では、 IDの小さい静的マスカレードが優先されます。設定できる範囲は1~32です。

プロトコル

公開するサーバ(アプリケーション)で使用しているプロトコルを選択し ます。マルチNATでは「*(すべて)」を選択してください。

外部IPアドレス

公開するサーバにインターネット側からアクセスするときの宛先IPアドレ ス(公開するIPアドレス)です。マルチNATでは「指定」を選択します。

外部IPアドレス入力

プロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレスの中から、本製品の WAN側ポートで使用しているIPアドレス以外のIPアドレスを入力します。

外部ポート

マルチNATでは設定する必要はありません。

内部IP アドレス

上記で指定した外部IPアドレス宛てのパケットが、本製品のWAN側ポート に送られてきた場合に、それが転送されるLAN側コンピュータのIPアドレ スを入力します。ここに入力されたIPアドレスのコンピュータがインター ネットに公開されます。

例:192.186.1.100

内部ポート

マルチNATでは「外部ポート番号と同じ」を選択してください。

内部ポート指定

マルチNATでは設定する必要はありません。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。「静的マスカレ ードテープル」にエントリが追加されます。もう一度、「適用」ボタンをクリックしてく ださい。

「設定を保存して再起動します。」 メッセージが表示されるので、 「再起動」 ボタンをクリ ックしてください。 「再起動」 ボタンをクリックすると、 変更した設定内容が保存され本 製品が再起動を開始します。 本製品はルーティングプロトコルとしてRIP1およびRIP2に対応しています (LAN側のみ)。また、ルーティングテーブルにスタティックルーティング 情報を追加することができます。

設定画面左側のメニューから、「ルーティング」の文字をクリックします。 ルーティング設定のページが表示されます。



LAN側RIP設定

RIPを有効にすると隣接ルータと経路情報を交換し、自分自身のルーティングテーブルを自動的に構成するようになります。工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。

無効

RIPを無効にします。

受信のみ

RIPパケットの受信だけ行います。

送信のみ

RIPパケットの送信だけを行います。

送受信

RIPパケットの送受信を行います。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

スタティックルーティング設定

既にスタティックルーティング設定がされているときは、「スタティックル ーティングテーブル」に各エントリが表示されます。エントリを変更した いときは「修正」ボタンを、エントリを削除したいときは「削除」ボタン をクリックしてください。

新たにスタティックルーティングを追加したいときは、「スタティックルートの追加」ボタンをクリックしてください。「スタティックルートの追加/ 修正」ページが表示されます。「スタティックルート」は最大で16エントリ まで登録できます。



宛先アドレス

送信先のIP アドレスを入力してください。 例:192.168.10.0

ネットマスク

送信先のサブネットマスクを入力してください。 例:255.255.255.0

ゲートウェイ

送信先アドレスへのゲートウェイのIPアドレスを入力してください。 例:192.168.1.10

メトリック

メトリックには1~15までの値を入力できます。送信先に対して複数の経 路があるときは、より低いメトリック値を持つ経路が優先されます。 例:1

プライベート

「Yes」または「No」から選択します。定義したルーティング情報を本製品のRIP機能でブロードキャストしたくないときは「Yes」を選択してください。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「スタティックルーティングテーブル」にエントリが追加されます。もう一 度、「適用」ボタンをクリックしてください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

6 ファイアウォール

本製品は以下のファイアウォール機能を装備しています。

ステートフルパケットインスペクション

現在の通信状態(IPアドレス/ポート番号やシーケンス番号)に基づき、す べての受信パケットを検査します。検査の結果、不正なパケットと判断さ れたときはすべて破棄します。

攻擊検出機能

インターネットからのDoS(サービス拒否)攻撃やポートスキャンなどの 攻撃を検出し、そのパケットを破棄します。本製品では以下の攻撃を検出 できます。

検出できる攻撃: Ping of Death、TearDrop/Bonk/Boink、SYN flood、 LAND、smurf、IP Spoofing、Port scan、Code Red

静的フィルタリング

送信元/送信先のIPアドレス/ポート番号の情報によって、受信パケットの転送/破棄を行います。

🛕 注意

 1.本製品のファイアウォール機能は、インターネットからのすべての不正侵入/攻撃に対処できるものではありません。あらかじめご了承ください。
 2.本製品のファイアウォール機能では、ウィルスやワームなどを検出することはできません。 また、LAN側ネットワーク内での不正行為や攻撃も防御することはできません。あらかじめご 了承ください。 ファイアウォール機能の設定をするには、設定画面左側のメニューから、 「ファイアウォール」の文字をクリックします。 メインメニューに「ファイアウォール」のページが表示されます。

bRoad Lanner Smart Manager - I	ficrosoft Internet Exp	lorer						
ファイル(E) 編集(E) 表示(y) は	6気に入り(A) ツール	(D) ~11769						13
◆戻る・→・② ② ② ③ ③	教堂 国古州に入	0 35517 3	12.00	3.308				
アドレス(D) (自 http://192168.1.1/				_		<u>.</u>	@移動	1)29 *
DCj_ BRL-04FA					J.			
■ 簡単インターネット設定				nne				
■ローカルネットワーク設定		L.D.						
■アドバンスド設定 NAPT協定		bRo	ad Lanr	ier smar	Manage	er		
N-71/2	ファイアウォ							
管理者設定	ファイアウォール	レ機能を設定しま						
■メンテナンス		アカウントハ	方向の選択:	LAN to WAN)				
ファームウェアアップデート		フルバケットインン		無効 三				
設定価額の保存/読込 デフォルト設定の読込		topコネクションシ	274701:	30 1/2				
★=A		tcpアイドル!	Pf 4791 :	60 分				
		udp7-1FJV3	344791:	1 分				
			プロッキング :	無効				
		ブロッ	キング時間:	1 分				
		IPソースル	レーティング:	「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」				
		Directed	-Broadcast :	破壊 💌				
				無効 三				
	\$200 - AL	=1a						
	静的フィルタを	リーノル います.						
	1D \$6/1		送信元	送信元	送信先	送信先	15/MI	
				None				
	110177/1-2/1	Ste						
	M20 (7-1/4 /-0).	12:00						
	連用 クリア							
145						3.0	h. A1	
12						19 イン	ターネット	1

アカウント/方向の選択

ファイアウォール機能を適用する方向(「WAN to LAN」または「LAN to WAN」)と接続方法(「Normal(通常接続)」または「PPPoE」)を選択します。本製品のファイアウォール機能は方向および接続方法別に個別に設定することができます。

ステートフルパケットインスペクション

ステートフルパケットインスペクション機能を有効にするときは「有効」 を、無効にするときは「無効」を選択します。工場出荷時の状態では「無 効」に設定されています。

tcpコネクションタイムアウト

TCPの接続要求(SYN)から、接続完了状態になるまでのタイムアウト時間を設定します。この時間を経過しても接続完了状態にならないTCPセッションは破棄されます。設定可能な範囲は1~9999秒です。工場出荷時の状態では30秒に設定されています。

tcpアイドルタイムアウト

TCPセッションのアイドルタイムアウト時間を設定します。ここで設定し た時間、通信が検出されなかったTCPセッションは破棄されます。設定可 能な範囲は1~99分です。工場出荷時の状態では60分に設定されています。 udp**アイドルタイムアウト**

UDPセッションのアイドルタイムアウト時間を設定します。ここで設定した時間、通信が検出されなかったUDPセッションは破棄されます。設定可能な範囲は1~99分です。工場出荷時の状態では1分に設定されています。

ブロッキング

同じ送信先IPアドレスに対しての不完全な(接続完了していない)TCPセ ッション数が一定値以上になったときに、その送信先IPアドレスへの新規 セッションを受け付けるかどうかを選択します。攻撃の防御やサーバの負 荷の軽減のために使用します。「有効」に設定すると新規セッションを次の 「ブロッキング時間」で設定した時間破棄します。「無効」に設定すると新 規セッションの破棄を行いません。

ブロッキング時間

上記のブロッキング動作を行う時間を設定します。攻撃を防御する目的の 場合は長めの時間を、サーバの負荷を軽減する目的の場合は短めの時間を 指定してください。設定可能な範囲は1~999分です。工場出荷時の状態で は1分に設定されています。

IPソースルーティング

「source-route」オプション付きのパケットを破棄するときは「破棄」を選 択します。許可するときは「許可」を選択します。「ソースルーティング」 はIPアドレス詐称攻撃に使用される可能性があります。工場出荷時の状態 では「破棄」に設定されています。

Directed-Broadcast

「Directed-Broadcast」パケットを破棄するときは「破棄」を選択します。 許可するときは「許可」を選択します。「Directed-Broadcast」パケットは、 smurf攻撃に使用される可能性があります。工場出荷時の状態では「破棄」 に設定されています。

ステルスモード

インターネット側からの本製品のWAN側ポートに対するpingへの動作を応答 をするかどうかを選択します。「有効」に設定するとWAN側ポートへのping に応答しません。「無効」に設定するとWAN側ポートへのpingに応答します。 工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。

🛕 注意

「tcpコネクションタイムアウト」、「tcpアイドルタイムアウト」、「udpアイドルタイムアウト」、 「プロッキング時間」に不適切な値を設定すると、通常の通信に支障をきたす可能性がありま す。必要がない限り工場出荷時の設定を変更しないでください。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

静的フィルタリングの設定

すでに静的フィルタが設定されているときは、「静的フィルタテーブル」に 各エントリが表示されます。エントリを変更したいときは「修正」ボタン を、エントリを削除したいときは「削除」ボタンをクリックしてください。 新たに静的フィルタの追加をするには、「静的フィルタの追加」ボタンをク リックしてください。「静的フィルタの追加/変更」ページが表示されます。 「静的フィルタ」は最大で64エントリまで登録できます。



登録ID

静的フィルタの登録IDを設定します。静的フィルタテーブル上では、IDの 小さい静的フィルタが優先されます。設定できる範囲は1~64です。

動作

登録するフィルタに該当するパケットが検出されたときのパケットの処理 を選択します。「通過」を選択するとそのパケットを通過させます。「破棄」 を選択するとそのパケットを破棄します。

プロトコル

フィルタの対象となるプロトコルを選択します。「*(すべて)」を選択する と、すべてのパケットが対象となります。「icmp」を選択すると、icmpパ ケットが対象となります。「tcp」を選択すると、TCPパケットが対象とな ります。「udp」を選択すると、UDPパケットが対象となります。「tcp&udp」 を選択すると、TCPとUDPパケットが対象となります。



異なる接続アカウント/方向や、間違ったフィルタを設定すると、通信に支障をきたす場合があ ります。フィルタの設定は十分注意して行ってください。

送信元IP アドレス

フィルタの対象となる送信元IPアドレスを入力します。IPアドレスの入力 方法は下記IPアドレス入力例を参照してください。

送信元ポート

上記「プロトコル」欄で、「tcp」、「udp」または「tcp&udp」を選択したと きに、フィルタの対象となる送信元ポートを入力します。ポート番号の入 力方法は下記ポート番号入力例を参照してください。

送信先IP アドレス

フィルタの対象となる送信先IPアドレスを入力します。IPアドレスの入力 方法は下記IPアドレス入力例を参照してください。

送信先ポート

上記「プロトコル」欄で、「tcp」、「udp」または「tcp&udp」を選択したときに、フィルタの対象となる送信先ポートを入力します。ポート番号の入力方法は下記ポート番号入力例を参照してください。

IPアドレス入力例

IP アドレス	説明
*	すべてのIPアドレス
19.16.1.3	特定のIPアドレス
19.16.1.0/24	ネットワークアドレス(24 ビットマスク)
19.16.1.3-19.16.1.33	「-」(ハイフン)区切りによる範囲指定
19.16.1.3,19.16.1.8	「,」(カンマ)区切りによる複数アドレス指定

ポート番号入力例

ポート番号	説明
*	すべてのポート
80	特定のポート
80-110	「-」(ハイフン)区切りによる範囲指定
80,8080	「,」(カンマ)区切りによる複数ポート指定

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 静的フィルタテーブルに静的フィルタが追加されます。静的フィルタの登 録が終わったら、もう一度、「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。
7 管理者設定

本製品ではセキュリティ確保のため、パスワードとIPアドレスによる管理 用端末の指定が可能となっております。IPアドレスによる管理用端末のチ ェックを有効にすると、設定したIPアドレス以外の端末からの本製品の WEB設定画面へのアクセスができないようになり、本製品の設定画面への 不正ログイン/設定変更を防ぐことができます。以下の方法で設定を行って ください。

設定画面左側のメニューから、「管理者設定」の文字をクリックします。 「管理者パスワード」のページが表示されます。



管理者パスワード

ブラウザで本製品の設定画面を開く際に必要になる管理者パスワードを設定します。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても「*」(アスタリスク)表示されます。工場出荷時の状態では「password」に設定されています。

例:PassWord

🛕 注意

最大8文字の半角英数字を入力できます。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

管理者パスワードの確認

誤入力防止のため、上記「管理者パスワード」で入力した文字を再入力し てください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても「*」(アス タリスク)表示されます。

例:PassWord

ログイン許可ネットワーク

本製品のLAN側ネットワークとWAN側ネットワークそれぞれについて、設 定画面へのログインを許可するかどうかを設定します。工場出荷時の状態 ではLAN側ネットワークのみ許可されています。

ログイン許可IPアドレス

本製品の設定画面にログインできるコンピュータのIPアドレスを入力しま す。「0.0.0.0」を設定するとすべてのIPアドレスが許可されます。工場出荷 時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

8 WAN側ポートMACアドレスの変更

本製品はWAN側ポートのMACアドレスの変更機能を装備しています。 CATVインターネット接続サービスなどでインターネットに接続する機器 のMACアドレスをプロバイダに申請する必要がある場合があります。すで にコンピュータのMACアドレスを申請してあるときに、本製品のWAN側ポ ートのMACアドレスをプロバイダに申請してあるMACアドレスに変更する ことによって、MACアドレスの申請をし直すことなく、すぐに本製品を使 用してインターネットに接続することができます。



本製品のWAN側ポートのMACアドレスは必要がない場合、変更しないでください。

本製品のWAN側ポートのMACアドレスを変更するには、設定画面左側のメ ニューから、「管理者設定」の文字をクリックします。「MACアドレス設定」 のページが表示されます。



WAN**側ポート**MAC**アドレス**

本製品のWAN側ポートに設定したいMACアドレスを16進数(0~9、A~F) で2桁ずつ入力してください。

例:00:90:cc:12:34:56

出荷時のMACアドレス

本製品の工場出荷時のMACアドレスです。

入力内容を確認し、正しければ「適用」ボタンをクリックしてください。 「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されるので、「再起動」 ボタンをクリックしてください。「再起動」ボタンをクリックすると、変更 した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

その他の機能

1 アクセス状況の表示

アクセス状況では本製品の「LAN側からWAN側」と「WAN側からLAN側」 それぞれの通信状況(NAPTセッションの状況)を表示します。

設定画面左側のメニューから、「アクセス状況」の文字をクリックします。 「アクセス状況」のページが表示されます。



送信元IPアドレス

送信元のコンピュータのIPアドレスです。

送信元ポート

送信元のコンピュータのポート番号です。

変換後ポート

NAPT変換後のポート番号です。

送信先IPアドレス

送信先のコンピュータのIPアドレスです。

送信先ポート

送信先のコンピュータのポート番号です。

2 設定情報の保存/読み込み

ここでは、本製品の設定情報をファイルに保存したり、保存した設定情報 を読み込むことができます。

設定画面左側のメニューから、「設定情報の保存/読み込み」の文字をクリ ックします。「設定情報の保存/読み込み」ページが表示されます。



設定情報ファイルの読み込み

「設定情報の読み込み」欄に読み込ませたい設定ファイルをフルパスで指定 します。または「参照」ボタンをクリックして、読み込ませたいファイル を選択して「開く」ボタンをクリックしてください。ファイルがフルパス で入力されます。

ファイルを指定したら、「設定情報の読み込み」ボタンをクリックしてくだ さい。設定ファイルが読み込まれ本製品が再起動します。

🛕 注意

設定情報を読み込ませると自動的に再起動します。LAN側IPアドレスやインターネット設定も すべて読み込まれた設定ファイルの情報に変わります。アクセスするコンピュータの設定を読 み込ませた設定情報に合わせてください。 本製品のファームウェアのアップデートを行った場合、前のバージョンのファームウェアで保 存した設定情報の読み込みはできない場合があります。

設定情報の保存

「保存」ボタンをクリックしてください。ファイルのダウンロードウィンド ウが表示されるので、この「ファイルをディスクに保存する」を選択して、 「OK」ボタンをクリックしてください。「保存する場所」と「ファイル名」 を指定するウィンドウが開きますので、それぞれ指定して、「保存」ボタン をクリックしてください。設定情報ファイルが保存されます。





ファームウェアのアップデート

「ファームウェアのアップデート」の欄に読み込ませたいファームウェアを フルパスで指定します。または「参照」ボタンをクリックして、ファーム ウェアを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。ファームウェ アがフルパスで入力されます。

ファームウェアを指定したら、「アップデート」ボタンをクリックしてくだ さい。ファームウェアが読み込まれ本製品が再起動します。

1 注意

最新のファームウェア情報につきましては、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp/)を ご覧ください。

4 デフォルト設定の読み込み

ここでは本製品の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができま す。

設定画面左側のメニューから、「デフォルト設定の読込」の文字をクリック します。「デフォルト設定の読込」ページが表示されます。

「デフォルト設定の読込」ボタンをクリックデフォルト設定が読み込まれ本 製品が再起動します。



付録A

トラブルシューティング

POWER LEDが点灯しない

本製品付属のACアダプタを使用していますか? ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか? ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか?

WAN LED**が点灯しない**

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびADSL/ ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか? ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか?

LANケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか?

LAN LED**が点灯しない**

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブ (コンピュータ)のRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか? コンピュータの電源は入っていますか?

WEB 設定 画面が 表示されない

> コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか?コン ピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワ ーク設定を確認してください。

> コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。

使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」「インターネットオプション」「接続」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にプロキシの設定項目があります。

コンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。 WindowsではDOSプロンプトから、ipconfig コマンドを実行するとIPア ドレスが表示されています。Macintoshではアップルメニューから「コン トロールパネル」 「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振 られてるか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得できて ないときは、コンピュータを再起動してください。(デフォルト設定時は 192.168.1.xxx がIPアドレスとして割り当てられます。)

インターネットにアクセスできない

WAN側ポートの設定が間違っている可能性があります。

プロバイダから受け取っている設定の資料をよく確認し、「第3章」の設 定をやり直してください。

DNSサーバの設定が間違っている可能性があります。

DHCPサーバ機能を利用されているときはプロバイダから受け取ってい るIP設定の資料をよく確認し、「第3章」の設定をやり直してください。 DHCPサーバ機能を利用していないときはプロバイダから受け取ってい るIP設定の資料をよく確認し、コンピュータのDNSサーバ設定を確認し てください。

IPフィルタが設定されていませんか?

IPフィルタの設定を確認してください。

MACアドレスがわからない

本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。Node ID: の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。

インターネット接続設定の ステータス表示



製品の設定画面の「インターネット接続設定」ページの「ステータス」欄に 表示されるメッセージの一覧です。

メッセージ	意味
Disabled	設定が無効になっています。
Link Down	WAN 側ポートが物理的にリンクしていません。
Connect (接続時間、 IP address, Netmask, Gateway)	接続が成功しています。
Disconnected	切断されています。
In the PPPoE Sequence	PPPoE の接続処理中です。
PPPoE:Service- Name- Error	PPPoE サービス名が不正です。
PPPoE:AC- System- Error	PPPoEサーバから接続拒否されました。
PPPoE:Generic-Error	PPPoE接続処理中に不明なエラーが発生。
PPPoE:PADI- Timeout	PPPoE接続処理中にPADIタイムアウトが発生。
PPPoE:PADR- Timeout	PPPoE接続処理中にPADRタイムアウトが発生。
PPPoE:LCP- Timeout	PPPoE接続処理中にLCPタイムアウトが発生。
PPPoE:IPCP- Timeout	PPPoE接続処理中にIPCPタイムアウトが発生。
PPPoE:Authentication- Failed	PPPoE接続処理中に認証に失敗しました。
PPPoE:Authentication-Timeout	PPPoE接続処理中に認証に失敗しました。
DHCP Offering	DHCPサーバからIPアドレスを取得中です。

デフォルト設定



製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォル ト設定の読込みを行った場合も、以下の設定が読込まれます。

-			
項目		設定内容	
Ļ	IP THUR	192.168.1.1	
Ñ	サプネットマスク	255.255.255.0	
側	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1	
	DHCP サーバー	有効	
H H	DHCP IP割当て範囲	192.168.1.20 ~ 100	
L C	DHCP 固定 IP割当て	なし	
<u></u>	プライマリDNS	0.0.0.0	
. 	セカンダリDNS	0.0.0.0	
	WINSサーバ	0.0.0.0	
	IP アドレス	0.0.0.0	
W	サブネッットマスク	255.255.255.0	
l <u>Ñ</u>	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
則	サービスタイプ	通常接続	
	DHCP クライアント	有効	
パスワ		password	
管理者	泊グイン許可ネットワーク	LAN 側のみ	
管理者	ログイン許可IPアドレス	*	
۲ X 1>	/名	未設定	
ホスト	名	broadlanner	
NAT		有効	
RIP		無効	
静的マスカレード		なし	
ルーティングテーブル		なし	
ステー	トフルパケットインスペクション	無効	
静的フ	ィルタ	なし	
UPnP	機能	有効	

付録D

仕様

<準拠する標準>

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

<ポート>

LAN側 : 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 スイッチ × 4ポート

WAN側: 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 1ポート

<LED>

Power、Status、Link/Act、100M

<入力電源>

DC 7.5V、1A

<消費電力>

最大5.475W

<**外形寸法(W**×D×H)>

175 × 110 × 27 mm

<重量(本体のみ)>

245g

<環境>

動作温度 0~40

動作湿度 35~85%

< E M I >

FCC Class B , VCCI Class B , CE Mark

Memo

Memo

Memo

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品 をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登 録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン 情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサ ポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー 登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユー ザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/user.htm

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号 へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX:03-5614-1018

送信日 :_____

会社名		
部署名		
名前		
電話	FAX	
E-MAIL		

製品名 Product name	4ポート ブロードバンド ルータ
型番 Product No.	BRL-04FA
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

ご使用のプロバイダについて

プロバイダ名	
サービス名	

質問内容

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の 保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合 が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。

- 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
- 3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
- 4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
- 5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原 因がある故障および損傷。

6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。 お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、 初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サー ビス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属 品が揃っていることが条件になります。

初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。

プラネックスコミュニケーションズ(株)

サポートセンター フリーダイヤル 0120-415977

- 2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。 (誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)
- 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送 りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証書

保証期間 Warranty	西暦	年	月	日より	1	年間
製品名 Product Name	4ポート ブロードバンド ルータ					
型番 Product No.	BRL-0	D4FA	製造番号 Serial No.			

個人使	用 法人使用(チェックしてください。) 使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。
フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	□□□-□□□□ 都道 府県
TEL	FAX
メールアドレス	
ご購入 代理店名 ・所在地	

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

http://www.planex.co.jp/ E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

ご質問の受付やドライバのアップデートを 下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

ユーザー登録:http://www.planex.co.jp/user/user.htm

FAX: 03-5614-1018

 $10:00 \sim 12:00 \cdot 13:00 \sim 17:00$

受付時間:月曜日~金曜日(祭日は除く)

フリーダイヤル:0120-415977

一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

いただいていない場合には、

なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは お気軽に下記へご連絡ください。